

明治時代のチラシ広告——引札

ひきふだ

昨年、いしかり砂丘の風資料館に寄贈された資料の中に3枚の引札があります。この引札は、

蔵の中の木箱に張られていて長い間蔵で眠っていたため、一部は虫に食べられ破れていました。

引札というのは、明治・大正

なく今では貴重品です。

寄贈された引札は、お正月に配った「正月引札」でおめでたい図柄が描かれています。

印刷は明治38(1905)年、東大阪市(古島竹次郎商店)で行われています。引札は、親船町で客馬車、荷馬車、宿泊所を営んだマルトモ三上新達、カネ力紺野捨吉が出しています。

図柄は三上新達の方が①「富士、鷹、なすび」と②「軍人と赤十字看護婦」。紺野捨吉の方は、③「桜の木につなかれた駿馬」です。一富士、二鷹、三なすびは、いうまでもなく初夢の縁起物ですが、軍人と看護婦図の方は、明治38年が日露戦争終結の年ですから戦勝記念の図柄ではないかと思われるます。もう1枚の紺野捨吉の引札には、「満潮に名誉の蹄跡をとどめおき我此嶋に迎ふ初春」という和歌が添えられています。当時、家々では正月になると引札の枚数を競ったようです。

は木版刷りでしたが、ヨーロッパから多色石版技術(クロモグラフィ)が入り、色彩鮮やかな印刷が一度にたくさんできるようになった。デザイン的に優れ美しいものが多いのですが、なかなか残っているものが少

(石橋孝夫)



②「軍人と赤十字看護婦」



和歌「満潮に名誉の蹄跡をとどめおき我此嶋に迎ふ初春」



③「桜の木につなかれた駿馬」

注) 掲載した引札の名称は筆者による仮名称。また①③の引札は、破損部分を画像上修復したものです。

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711

✉i-museum@bz01.plala.or.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎72-3240

✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp